

がん化学療法レジメン

対象疾患	レジメン名			申請日	2012/5/16
多発性骨髄腫	MP (M:メルファラン+P:プレドニゾン)療法			申請医師名	今村朋之
FNリスク	不明	催吐リスク	軽度	確認医師名	佐藤 昌彦
				登録日	2012/5/18
				改定日	2020/8/19

Rp	薬剤名 (対応する先発医薬品名)	投与量	投与方法	投与時間	投与日	危険度 [分類]
Rp.1	メルファラン(アルケラン)	9mg/m ²	内服	朝起床時	d1~4	I [細胞]
Rp.2	プレドニゾン(プレドニン)	60mg/m ²	内服		d1~4	—

1コース						21日						総コース数						8コース										
Rp	d1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	●	●	●	●																		/	/	/	/	/	/	/
2	●	●	●	●																		/	/	/	/	/	/	/

特記事項

➤減量基準

《メルファラン》

[中止基準(禁忌)]

白血球数2000/mm³以下又は血小板数50000/mm³以下に減少した場合
(致死的な感染症誘発や出血傾向増大の危険性が高くなる)

[休薬基準]

①血液毒性

白血球数が3000/mm³以下又は血小板数100000/mm³以下に減少した場合は
骨髄機能が回復するまで減量又は休薬すること。

②腎機能

腎障害のある患者では本剤のクリアランスが低下し、本剤による副作用が増強するおそれがあるので投与量が過多にならないよう考慮すること。

CCr(15~60 mL/min)→投与間隔は腎機能正常者と同じだが投与量は75%に減量する

CCr(15 mL/min未満)→投与間隔は腎機能正常者と同じだが投与量は50%に減量する

➤その他

- ・メルファランは空腹時に投与すること。
- ・Rp.3はプレドニゾンではなく、デキサメタゾン(デカドロン)を使用しても良い。

参考文献

- ・アルケラン錠2mg 添付文書
- ・日本腎臓病薬物療学会, 腎機能別薬剤投与量POCKETBOOK第3版
- ・日本臨床腫瘍薬学会, がん化学療法レジメンハンドブック 改訂第6版
- ・南 博信, 抗悪性腫瘍薬コンサルトブック 改訂第2版